

「進んで考え 判断し

思いやりと勇気をもって挑戦する」

自他共栄

住所：行方市南327の3

電話：0299-80-8070 / FAX：0299-77-0840

◆ 自分たちで課題を解決しています！！ ◆ ～ 授業研究から ～

3年3組 社会 ○○先生 9月24日 5校時

「効率」と「公正」についての授業だった。課題は、答えが1つではなく、何通りも考えられるものであった。各自で考えた後に、グループ、クラスで話し合った。根拠を基に話し合いが進められていった。渡辺先生から答えをもらうのではなく、自分たちで答えを導き出すことができていた。

1年2組 美術 □□先生 9月25日 3校時

モダンテクニック（デカルコマニー、ドリッピング）の技法を身に付ける授業だった。基本は柏葉先生が教えてくれた。その後、絵の具の濃度や用具の生かし方について、自分たちで試行錯誤を繰り返した。体操着が汚れる程、夢中で取り組んでいた。2つの技法を身に付けたいという気持ちが伝わってきた。

1年1組 英語 ◎◎、△△先生 9月26日 2校時

授業の目標は、「人物の紹介すること。紹介する人物についての事実や自分の考え、気持ちを説明すること」だった。50分間、休むことなく英語によるコミュニケーションが行われていた。タブレットで録画した動画を活用し、自分のパフォーマンスをよりよいものにしていった。3人の先生に教えてもらうことを待たずに、自分たちで、何回も挑戦する姿があった。

2年3組 数学 ▽▽先生 9月27日 2校時

2点を通る1次関数の式の求め方を説明する授業だった。これまでの学習をヒントに問題解決をしていた。染谷先生に頼ることなく学習を進めていた。できた人が、苦戦している友達へ説明している姿が多く見られた。3名の人が代表で、全員に対して説明することができた。「先生に教えてもらう」のではなく「自分たちで学ぶ」という姿が見られた。

◆ 校舎に響く、合唱 ◆

校舎に合唱が響いている。11月2日（土）の合唱コンクールに向けて、各学級が練習をしている。学級別の合唱コンクールは、中学校独自の行事だ。変声期の人もいる中、なぜ合唱コンクールを行うのか。答えは一つではないが、私は次のように考える。一生忘れることのできない学級をつくるためである。

合唱を創り上げるには、必ず困難が伴う。時間もかかる。自分勝手はできない。しかし、困難を乗り越えようと努力したときに、本物の絆がつくられ、喜びが生まれる。

合唱コンクールをとおして、忘れたくても忘れることのできない学級をつくって欲しい。